

2026年6月期 第1四半期決算説明資料

株式会社ブロードバンドセキュリティ | 2025年11月12日

当社IRサイトに個人投資家向けコンテンツを開設
[株主通信](#) [STOCHOLDER COMMUNITY](#) ぜひご覧ください。



便利で安全なネットワーク社会を創造する

BroadBand Security, Inc.

2026年6月期 第1四半期決算説明資料

2026年6月期 第1四半期業績サマリー

2026年6月期 業績予想

株主還元とIR強化について

APPENDIX :

事業内容について

サイバーセキュリティ市場の動向と当社対応

Vision2030について

1 Q決算概要

前年同期比 増収増益

1Qとして過去最高の売上高を更新、最終利益は黒字転換
2Q以降の業績拡大に向けて順調に進捗

株主還元強化

配当に加え、株主優待制度を新設

300株以上保有の株主様に年2回
年間合計10,000円相当のデジタルギフト®を進呈

※詳細は3ページ目をご覧ください

トピックス

- アジア太平洋地域でのTISAX®認証取得・運用支援を兼松エレクトロニクス社と共同提供するなど新サービスの導入が順調に開始
- IR活動強化、個人投資家説明会の開催、IRサイトからの情報発信を強化

株主優待制度を導入

300株以上保有の株主様を対象に デジタルギフト[®]年間10,000円相当（中間・期末各5,000円相当）を贈呈

● 対象となる株主様

毎年12月末日及び6月末日現在の当社株式名簿に記載または記録されている、300株以上を半年以上継続保有の株主様を対象といたします。
なお、初回の2025年12月末日基準に限り、継続保有条件を設けておりません。

● 株主優待制度の内容

基準日	保有株式数	優待内容	贈呈時期
毎年12月末日	300株（3単位）以上	デジタルギフト 5,000円相当	3月
毎年6月末日	300株（3単位）以上	デジタルギフト 5,000円相当	9月



※デジタルギフトの対象となる交換先は下記のとおりです。

PayPay/Amazonギフトカード/QUOカードpay/dポイント/PlayStation Store/すかいらーくグループ/Uber/Uber Eats/Google Play/au PAY/Huluチケット/DMM.com/Visa eギフト/図書カードNEXT/TOHO CINEMAS/ムビチケ/ROBLOX/アソビュー!/吉野家/TULLY'S COFFEE/KFC/サーティーワン/選べるおいしいお肉カード/全国お取り寄せスイーツカード等

※詳細につきましては、2025年11月12日開示の「株主優待制度の導入に関するお知らせ」をご覧ください。

1Q会計期間として過去最高の売上高で着地

増収と利益率の向上により最終利益も黒字転換し、2Q以降の業績拡大に向けて順調に進捗

単位：百万円	2025年6月期 第1四半期実績	2026年6月期 第1四半期実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,425	1,493	+68	+4.8%
売上原価	1,059	1,080	+20	+2.0%
売上総利益	365	412	+47	+13.1%
販売費及び一般管理費	361	380	+19	+5.3%
営業利益	3	32	+28	+816.4%
営業利益率	0.2%	2.1%	+1.9pt	-
経常利益	-7	15	+23	-
経常利益率	-	1.1%	-	-
当期純利益	-11	5	+16	-

自己資本比率は50%を上回る水準で安定
成長性と安定性の両立を図りつつ、継続的な株主還元を実施

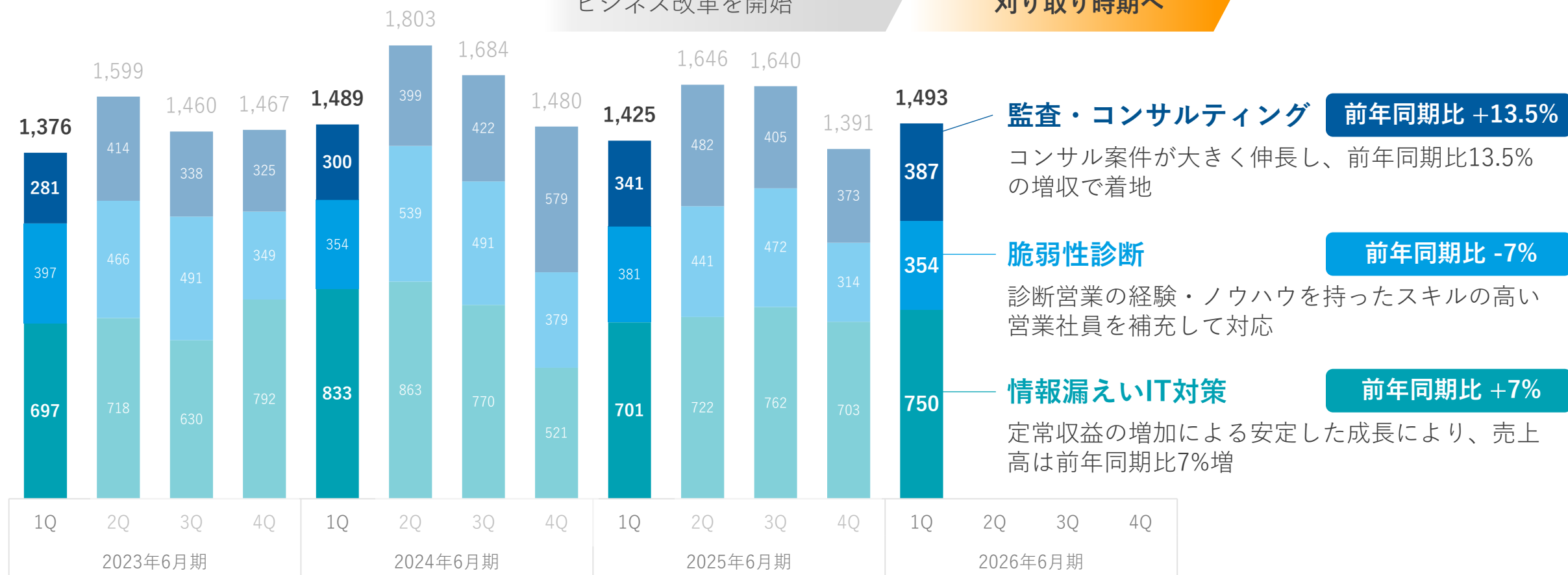
単位：百万円	2025年6月期 実績	2026年6月期 第1四半期実績	前期末比増減	前期末比増減率
流動資産	2,561	2,468	-92	-3.6%
固定資産	1,236	1,229	-6	-0.6%
資産合計	3,797	3,698	-99	-2.6%
流動負債	1,304	1,260	-43	-3.3%
固定負債	385	360	-24	-6.5%
負債合計	1,690	1,621	-68	-4.0%
純資産合計	2,107	2,076	-30	-1.5%
(自己資本比率)	55.5%	56.2%	+0.7pt	-

監査・コンサルティング、情報漏えいIT対策は前年同期比増収の順調な推移
脆弱性診断は前年同期比減収となったものの、営業体制を強化して回復に向け対応

(単位：百万円)

中長期の事業拡大に向けて
ビジネス改革を開始

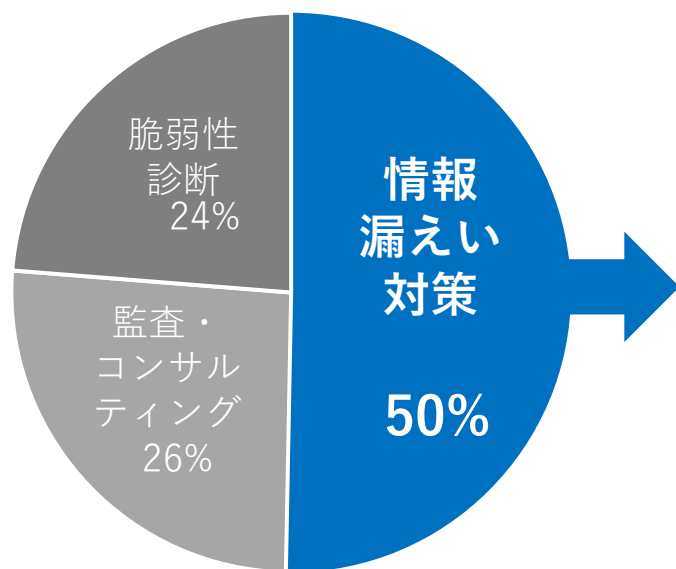
2Q以降
刈り取り時期へ



情報漏えいIT対策の定常収益は安定的に成長

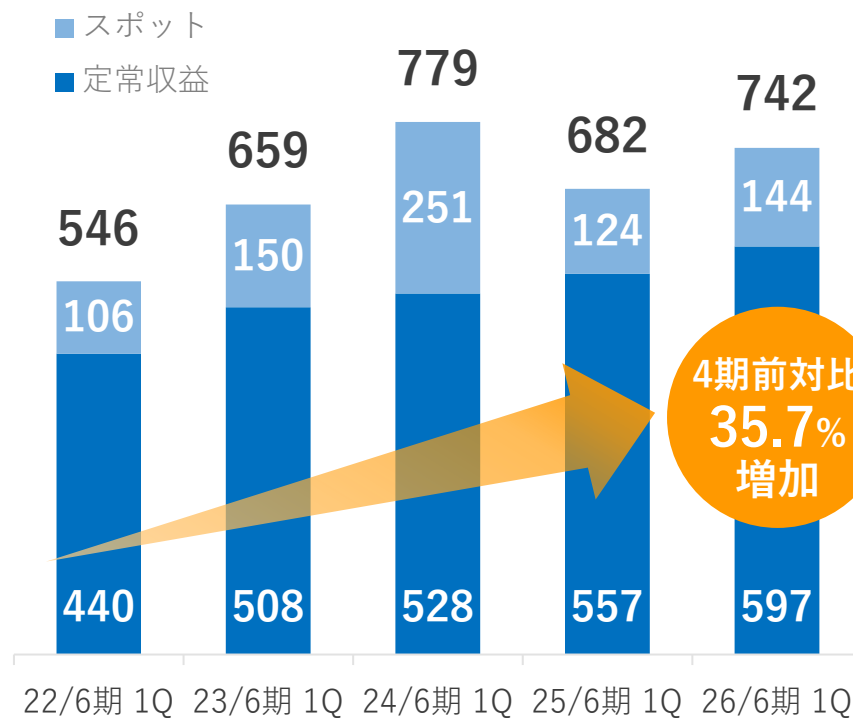
当社主力事業として、スポット案件獲得の増加と定常収益の継続的な伸長を目指す

サービス区分別売上高比率



情報漏えいIT対策（国内売上）の定常収益、スポット推移

単位：百万円



定常収益の着実な増加

情報漏えいIT対策の定常収益は、
4期前対比で35.7%増加

スポット案件の増加と合わせ、安定
収益源として当社主力事業である情
報漏えいIT対策の成長に寄与

<スポット>

セキュリティ機器販売、セキュリティ
運用サービス初期費用、緊急対応等

<定常収益>

セキュリティ監視・運用・保守、ライ
センス・サブスクリプション等

| BBSecと兼松エレクトロニクス（KEL）

アジア太平洋地域でのTISAX®認証取得・運用支援を共同提供

自動車産業のグローバル化、サプライチェーン全体のセキュリティ強化の動きからニーズが拡大 KELと協業して海外市場を開拓

タイにおける自動車部品製造業2社とそのサプライチェーンである商社1社に対し、TISAX®（Trusted Information Security Assessment Exchange）認証取得・運用支援を共同で提供開始。現地調査から運用実装、審査前後のQAまで伴走します。海外拠点のTISAX支援は、継続的な運用・是正の需要があり、審査周期ごとの支援も見込めます。

TISAX®とは

自動車産業における情報セキュリティの審査結果を 共通ルールで相互に参照・共有する仕組み

- ISO/IEC 27001を基盤に、自動車業界特有の「情報保護」「データプライバシー」「プロトタイプ保護」を追加した認証制度
- 2017年以降、欧州を中心に急速に普及
- 欧州OEM（自動車完成車メーカー）との新規・継続取引では、TISAX®適合が実務上の前提となるケースが増加



サプライヤー



サービス
事業者

自動車産業の
サプライチェーン

取引にはTISAX®への
適合が前提となる
ケースが多い

商社を含む非製造の
企業など幅広く対象



製造業



海外拠点セキュリティ評価を現地訪問型アセスメントで提供開始

アジア太平洋地域において日本企業の海外拠点におけるセキュリティニーズに対応

日本企業の海外拠点のサイバー脅威

- ランサムウェア（身代金要求型の悪意のあるソフトウェア）被害
- WAN（拠点間を結ぶ広域ネットワーク）を経由したデータ詐取やダークウェブ（一般の検索で到達しにくい匿名ネットワーク上の領域）への漏えい



本社機能に影響が出たり、
サプライチェーンへの影響により現地拠点
のみならず日本の工場の稼働が
ストップするなど
甚大な被害が発生

統合サービスを提供

「セキュリティ・オンサイトアセスメント」

現地訪問による評価

業界・国際基準のガイドラインに大手製造業様の独自のセキュリティガイドラインについて確認し、国内の経験豊富なセキュリティ及びIT専門家による海外拠点へのオンサイト評価を実施



オンサイトアセスメントで現状を可視化



顧客に課題・改善点と課題対策ロードマップを提示

2026年6月期 第1四半期決算説明資料

2026年6月期 第1四半期業績サマリー

2026年6月期 業績予想

株主還元とIR強化について

APPENDIX :

事業内容について

サイバーセキュリティ市場の動向と当社対応

Vision2030について

2025年6月期の課題は対策済。豊富な受注残と経営体制のさらなる強化で業績回復を見込む
各段階利益とも、前期比大幅増益を見込む

- ✓ 前期末の受注残は29億円超で過去最高水準となり、情報漏えいIT対策の定常収益（月額売上）と監査・コンサルの受注残をベースに、売上を伸長する
- ✓ 受注残の本格的な売上寄与は第2四半期以降の見込み
- ✓ ビジネス改革を着実に進めて、業績回復の取り組みを強力に推進する

単位：百万円	2025年6月期 通期実績	2026年6月期 通期計画	前年同期比 増減率
売上高	6,103	7,100	+16.3%
営業利益	257	700	+171.4%
営業利益率	4.2%	9.9%	+ 5.7p
経常利益	251	670	+166.7%
経常利益率	4.1%	9.4%	+5.3p
当期純利益	142	460	+222.3%
当期純利益率	2.3%	6.5%	+4.2p

資本業務提携の株主との協業を加速し、協業強化で顧客獲得にドライブをかける



グローバルセキュリティ
エキスパート株式会社
教育商材、リソース補完

当社顧客のセキュリティ意識を高め
ビジネスチャンスを拡大



兼松エレクトロニクス株式会社
能動的サイバー防御の
セキュリティ運用サービス

『G-MDR™』販売の強化



株式会社IDホールディングス
ITインフラ/システム運用
+セキュリティ

セキュリティ運用強化、AI×セキュリティ/
先端技術へのセキュリティの共同開発



大日本印刷株式会社
OT SOC+工場セキュリティ

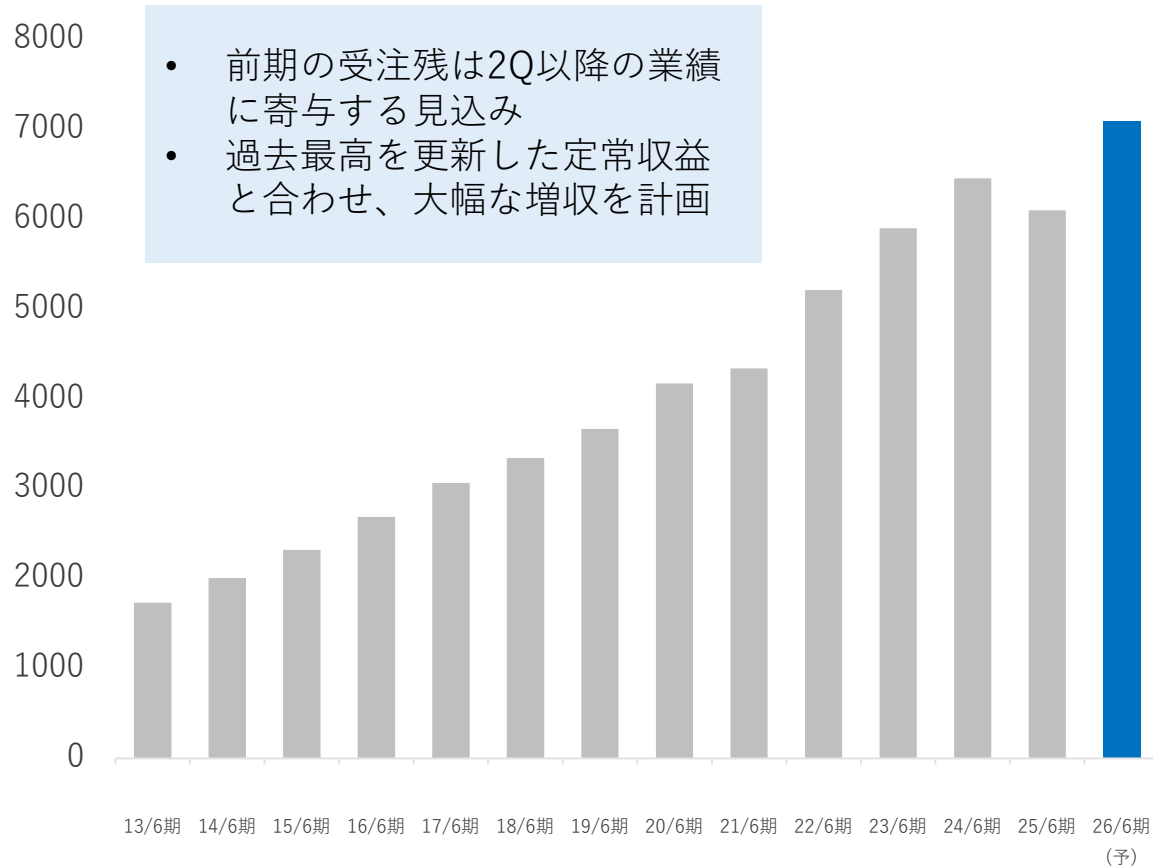
製造業向けセキュリティサービス強化

各社からの当社への出資比率は次の通りです。GSX社22.62%、KEL社9.83%、IDホールディングス社21.57%、DNP社0.43%

営業課題への対策と過去最高の受注残、社内体制の確立を背景に、 2026年6月期は過去最高業績を計画

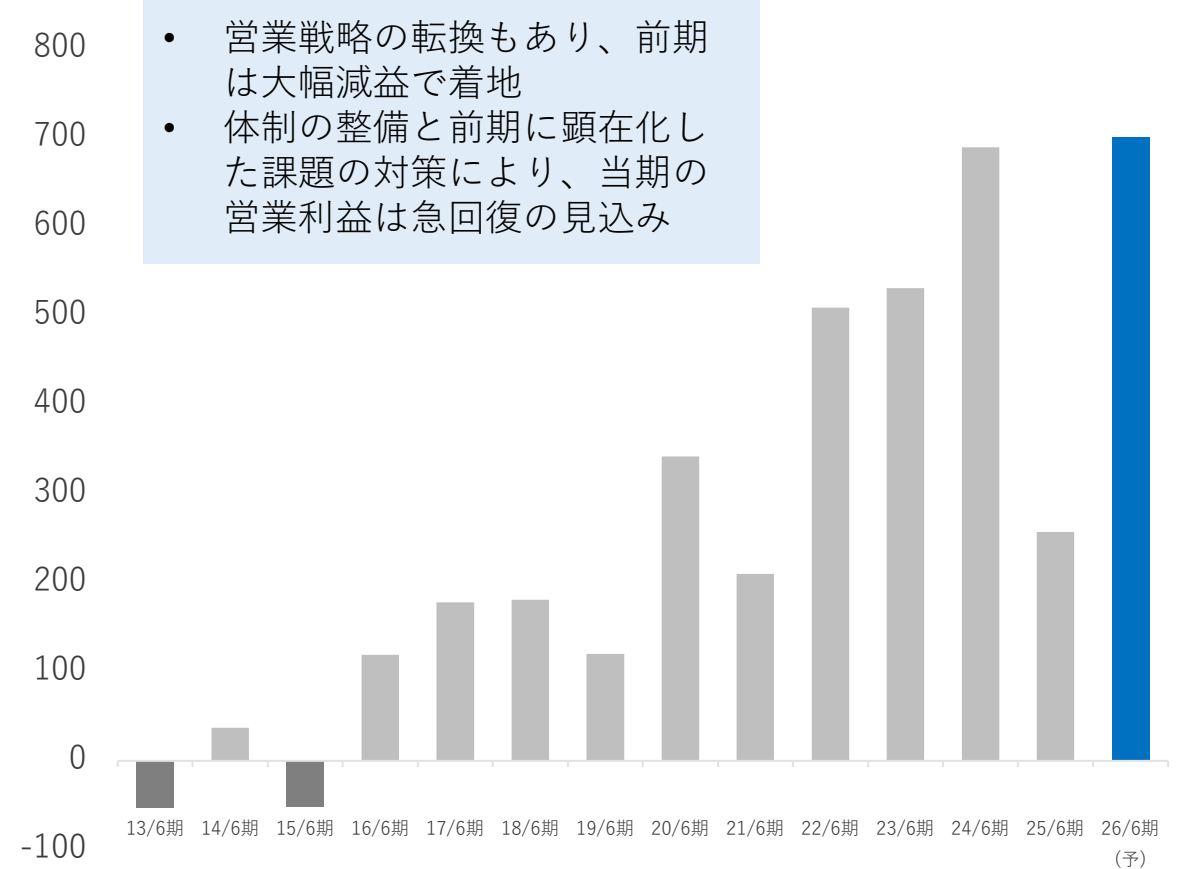
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



2026年6月期 第1四半期決算説明資料

2026年6月期 第1四半期業績サマリー

2026年6月期 業績予想

株主還元とIR強化について

APPENDIX :

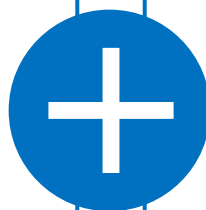
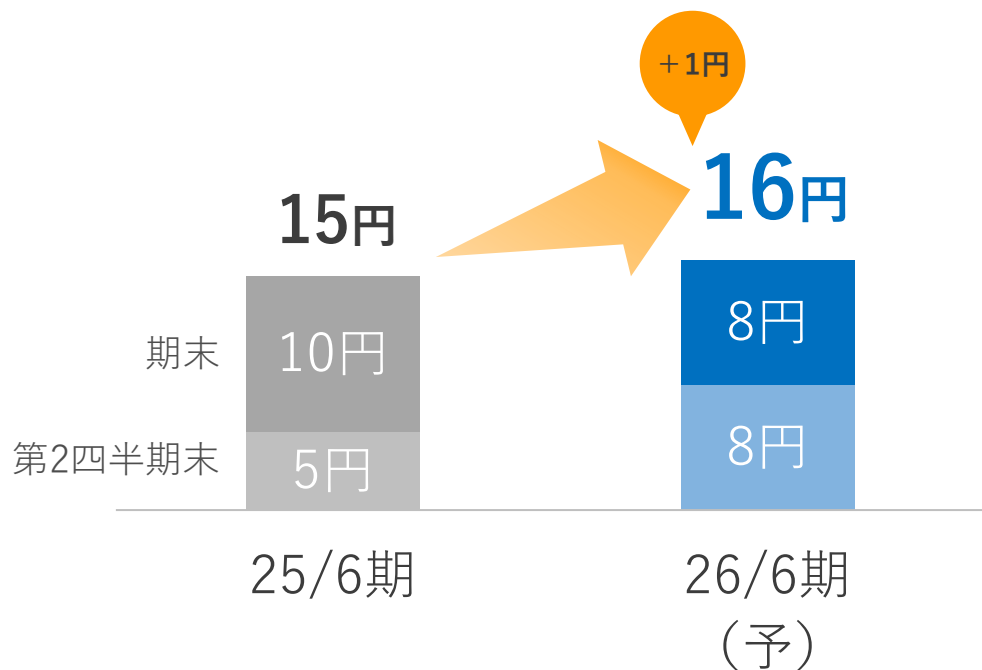
事業内容について

サイバーセキュリティ市場の動向と当社対応

Vision2030について

- ✓ これまでの業績により財務基盤も強化されており、安定的かつ継続的な配当として増配を実施
- ✓ 新たに株主優待制度による株主還元も実施することで、引き続き利益還元の充実と株主価値の向上に取り組む

配当



株主優待

300株以上保有の株主様対象
デジタルギフト® 
年間10,000円相当を贈呈※
(中間・期末各5,000円相当)

➤ 対象となる株主様

毎年12月末日及び6月末日現在の当社株式名簿に記載または記録されている、300株以上を半年以上継続保有の株主様を対象といたします。なお、初回の2025年12月末日基準に限り、継続保有条件を設けておりません。

個人投資家向け説明会

セキュリティ企業4社による
個人投資家向けIRセミナーを開催



神戸投資勉強会共催 セキュリティ企業 合同IRセミナー

投資家の皆さまに各社の事業を深くご理解いただくことを目的に、当社およびトビラシステムズ社、グローバルセキュリティエクスパート社、セキュア社のセキュリティ企業4社合同で、個人投資家向けIRセミナーを開催いたしました。

リリース <https://ssl4.eirparts.net/doc/4398/tdnet/2650933/00.pdf>

IR情報発信強化

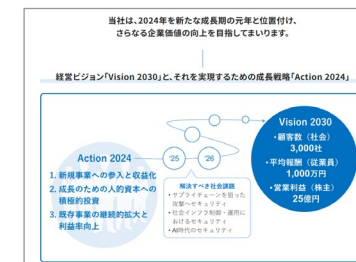


当社IRサイトにおいて、株主・投資家の皆様へ、当社事業の動きや目指す姿をわかりやすくお伝えしています。ぜひご覧ください。

コンテンツ例

「2025年6月期 株主通信」

「経営ビジョンと成長戦略」



ブロードバンドセキュリティ IRサイト <https://www.bbsec.co.jp/ir/index.html>

2026年6月期 第1四半期決算説明資料

2026年6月期 第1四半期業績サマリー

2026年6月期 業績予想

株主還元とIR強化について

APPENDIX :

事業内容について

サイバーセキュリティ市場の動向と当社対応

Vision2030について

日々の暮らしを
ITセキュリティ対策で支えています



ケーブルテレビ
メールサービス



銀行・EC・旅行・
不動産サイト



クレジットカード



自動車産業



防衛産業



国際送金



電力産業

世の中の産業基盤を
サイバーセキュリティ対策で支えています



BBSec

BroadBand Security, Inc.



オンラインゲーム



ふるさと納税



スマートフォン
アプリ

便利で安全なネットワーク社会を創造する



社名	株式会社ブロードバンドセキュリティ(略称 BBSec)
----	-----------------------------

本社	東京都新宿区
----	--------

設立	2000年11月30日
----	-------------

従業員数	239名（2025年6月末現在）
------	------------------

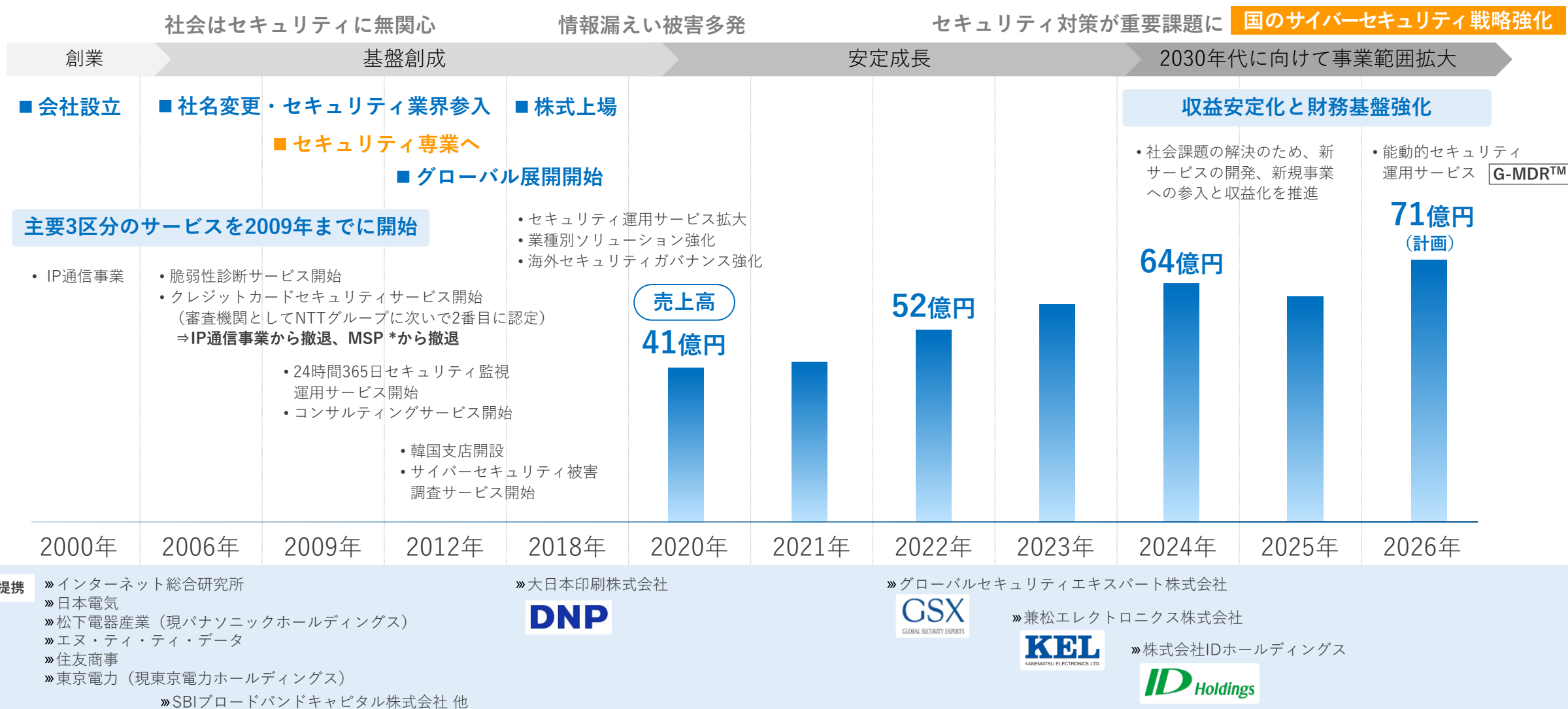
代表者名	代表取締役社長 滝澤 貴志
------	---------------

資本金	301百万円
-----	--------

上場	2018年9月（東証スタンダード：4398）
----	------------------------

主な株主	グローバルセキュリティエキスパート株式会社 株式会社IDホールディングス SBIインキュベーション株式会社 兼松エレクトロニクス株式会社 大日本印刷株式会社
------	--

サイバーセキュリティニーズを先読みした選択と集中。それに伴う資本業務提携で着実に事業を拡大



資本業務提携の株主との協業を加速し、協業強化で顧客獲得にドライブをかける

GSX

GLOBAL SECURITY EXPERTS

グローバルセキュリティ
エキスパート株式会社
教育商材、リソース補完

当社顧客のセキュリティ意識を高め
ビジネスチャンスを拡大

KEL

KANEMATSU ELECTRONICS LTD.

兼松エレクトロニクス株式会社
能動的サイバー防御の
セキュリティ運用サービス

『G-MDR™』販売の強化

ID Holdings

株式会社IDホールディングス
ITインフラ/システム運用
+セキュリティ

セキュリティ運用強化、AI×セキュリティ/
先端技術へのセキュリティの共同開発



BBSec

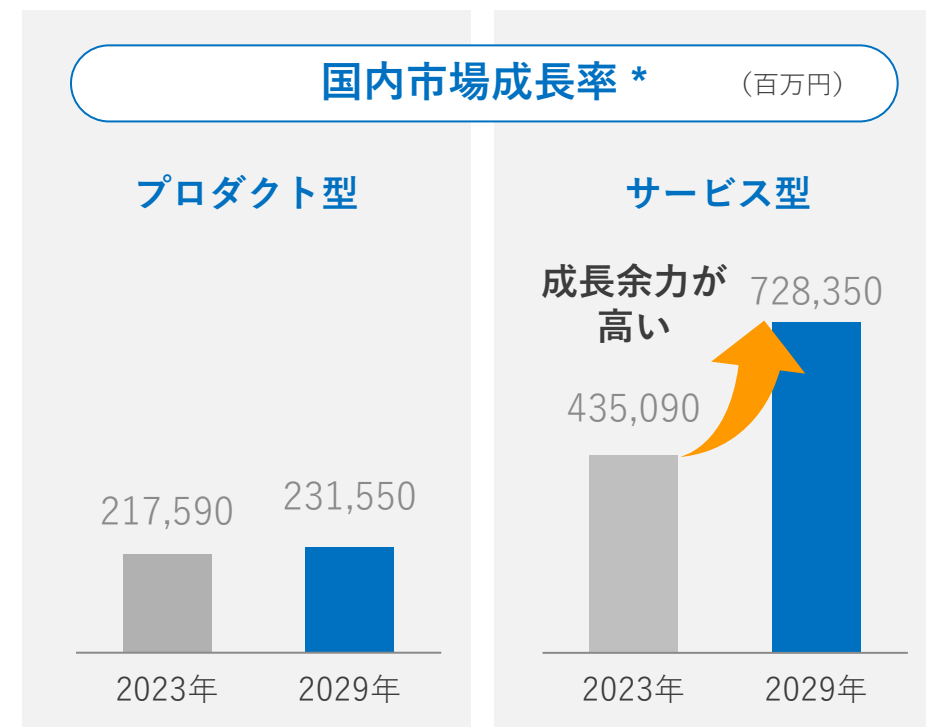
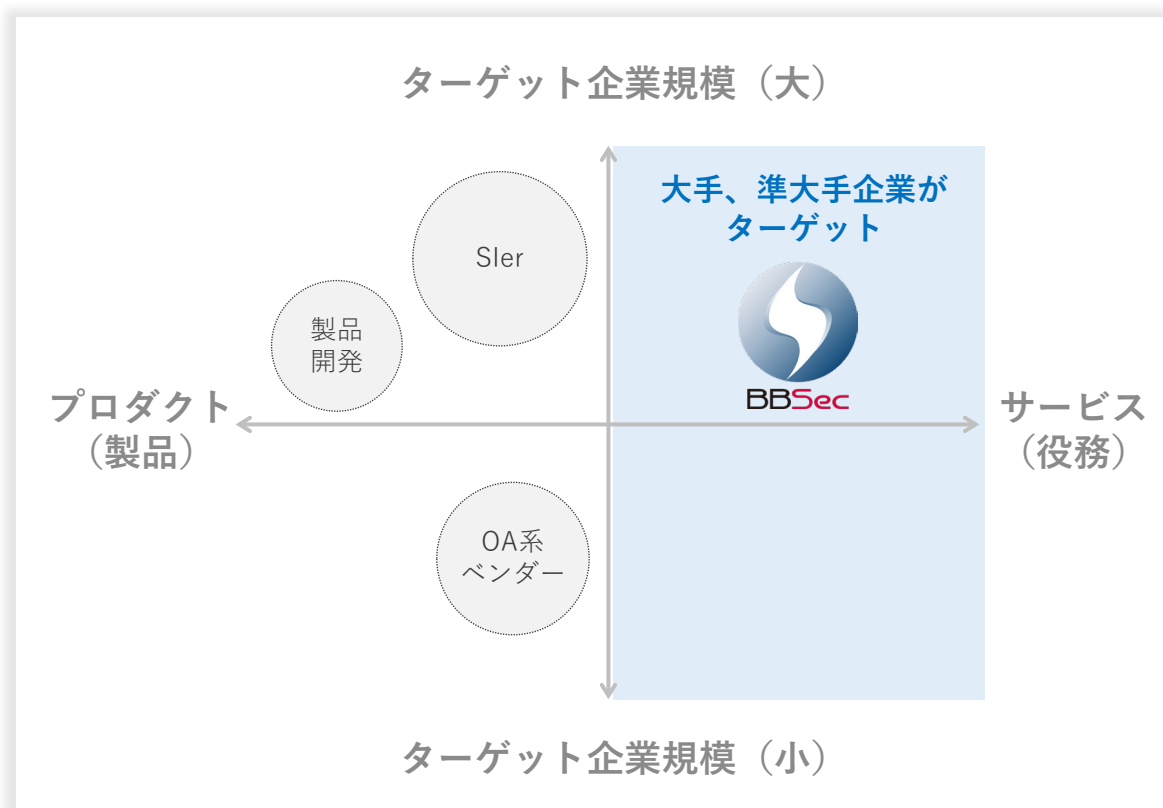
DNP

大日本印刷株式会社
OT SOC + 工場セキュリティ

製造業向けセキュリティサービス強化

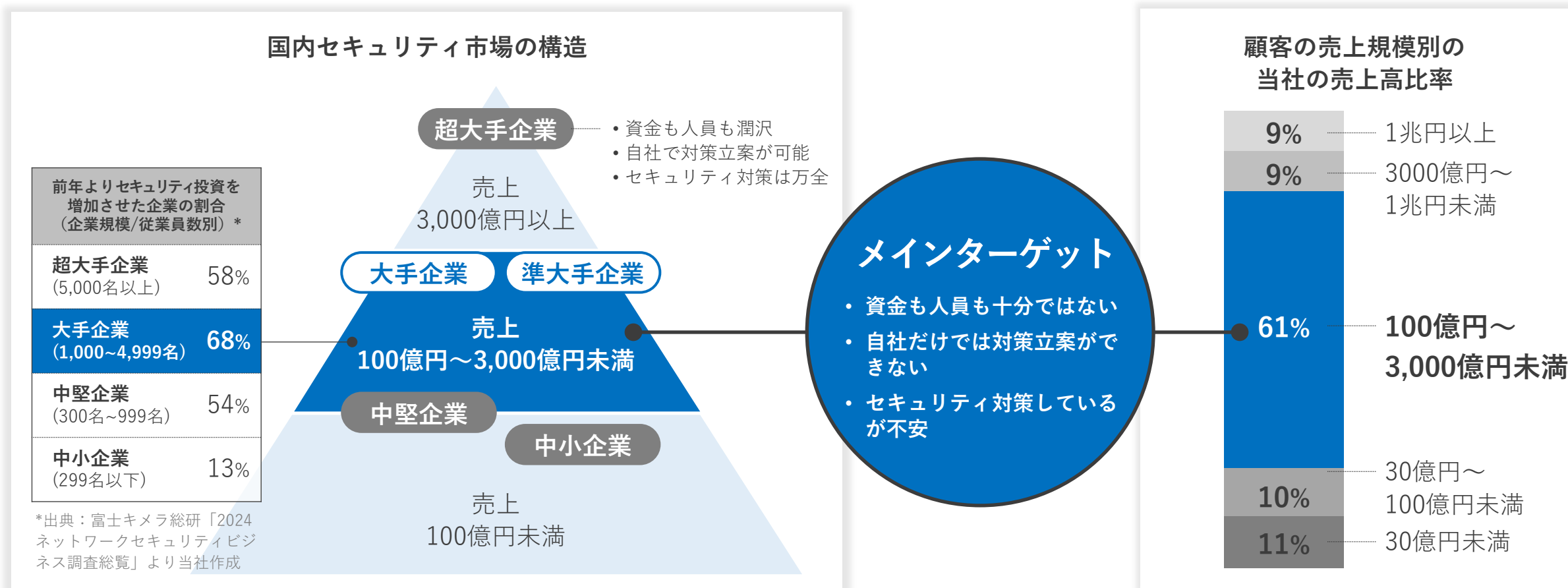
サイバーセキュリティ業界は旺盛な需要が続いており、特に当社の事業領域であるサービスの成長余力は高いと確信

市場における位置づけ



* 出典：富士キメラ総研「2024ネットワークセキュリティビジネス調査総覧」より当社作成

サイバーセキュリティ投資に積極的な売上高100億円～3000億円の手、準大手がメイン顧客層



既存顧客2,500社への綿密かつ直接のアプローチに加え、戦略的な株主・資本業務提携パートナーからの集客を組み合わせ、販売戦略をマルチチャネル化



セキュリティ専門事業者として、悪意ある攻撃から組織の情報資産を守り、組織がその情報資産をもとに適正に成長していくことを支援

セキュリティ監査・コンサルティング

お客様システムの可視化/課題抽出/課題解決を目的とした、組織全体に対するセキュリティ支援サービス。IT・組織両面からセキュリティの盲点を発見し、実現可能な解決策を提示。

トップクラス

PCI関連資格者数 延べ **146人**

トップシェア

SWIFT監査地銀シェア **約6割**

韓国PCI DSS監査シェア **約7割**

脆弱性診断

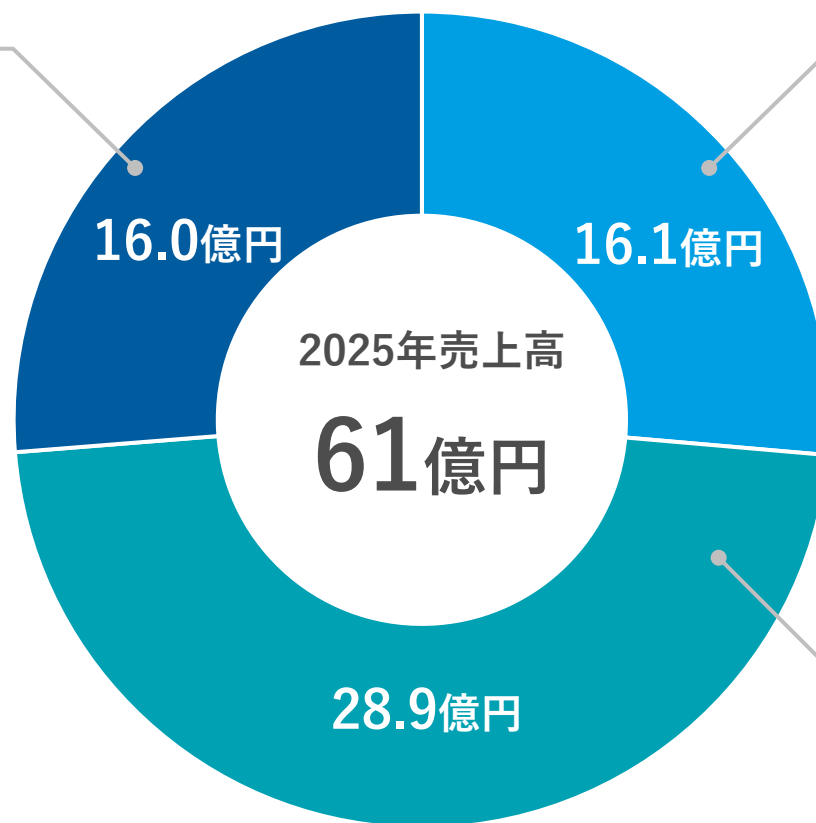
お客様システムに潜む脆弱性の有無を検証し、リスクを分析した上で改善案を提示するサービス。時々刻々と変化するセキュリティ事情に対応するために様々なニーズに応える各種診断メニューをラインアップ。

豊富な実績

診断実績組織数 延べ **1万社超**

情報漏えいIT対策（監視・運用）

慎重かつ堅実な継続的作業を求められるセキュリティ運用を、セキュリティのプロフェッショナルが24時間・365日体制でご支援。



あらゆる業界のお客様に寄り添う多様なサービスラインアップ

セキュリティ監査・コンサルティング

－ コンサルティング

- ・セキュリティ・アドバイザー
- ・CSIRT*1構築・運用支援
- ・セキュリティ文書整備支援
- ・AI向けセキュリティ対策支援
- ・サイバーIT-事業継続策定支援
- ・Webサイト構築・コンサルティング

一 認定資格による監査（評価）

- クレジットカードセキュリティ評価
- 国際送金評価

一 業界・業種別コンサルティング

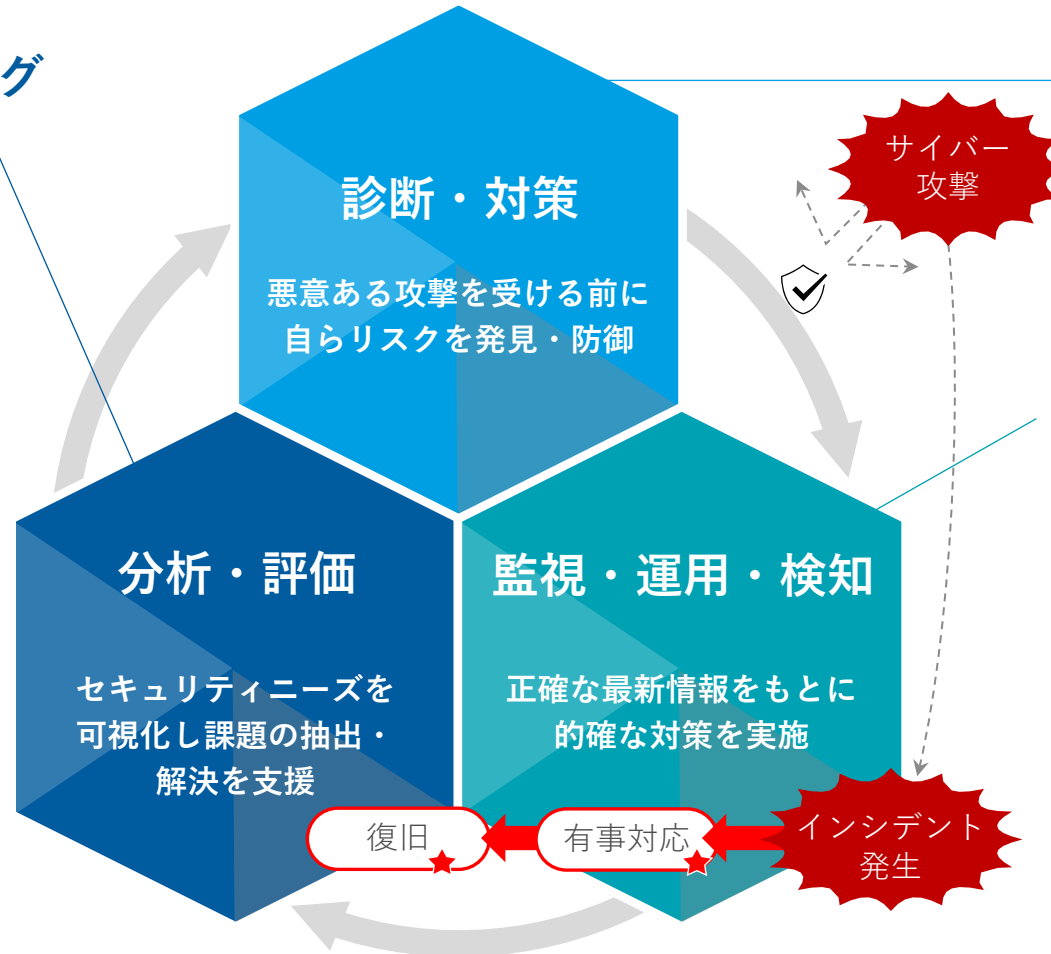
- ・金融機関向けセキュリティ評価
- ・自動車部品業界向け対策支援
- ・TISAX*2認証支援コンサルティング
- ・防衛産業セキュリティ基準準拠支援
- ・電気事業者向けセキュリティ評価
- ・地方公共団体向けアセスメント

脆弱性診断

- Webサイト診断
 - クラウド設定診断
 - スマホアプリ診断
 - ソースコード診断

情報漏えいIT対策 (監視・運用)

- マネージドセキュリティ運用
- サイバーセキュリティ被害調査
- セキュアメール（クラウド）
- セキュリティログの収集と分析
- 統合監視サービスG-MDR
- クラウドセキュリティ運用



G-MDR™ (能動的セキュリティ運用)

★…緊急対応（事故調査）/
クレジットカード情報漏えい調査

*1 Computer Security Incident Response Team
サイバーセキュリティの監視・対策を行う社内組織

*2 自動車業界の国際的なサプライチェーンセキュリティ標準

顧客基盤

豊富な実績

取引実績

2,500社

重要インフラ：14業種（全15業種）
日経225企業：約4割 をカバー

パートナーシップ

販売パートナー

100社超

通信キャリア4社
Sler売上規模上位10社のうち7社
電力系通信子会社11社のうち10社

豊富な実績

診断実績組織数

延べ1万社超

金融機関・民間企業から官公庁など
延べ6万システム以上に提供

サービス基盤

信用と信頼

継続率

95.5%

24時間365日で提供するセキュリティ
運用サービスの契約継続率

トップシェア

地銀シェア

6割

国際送金(SWIFT)のセキュリティ監査会社
の資格を日系企業として初めて保有

トップシェア

韓国市場シェア

7割

クレジットカードセキュリティ監査会
社の資格保有。韓国でのシェアは7割

人材基盤

トップクラス

PCI関連資格者数

延べ146人

クレジットカードセキュリティ監査の
資格保持者数国内トップクラス

スペシャリスト

技術者の活躍

74.8%

社員の内、セキュリティエンジニア・
セキュリティコンサルタントの比率

エンゲージメント

育休取得率・復帰率

100%

働きやすい職場環境を構築
ひとりひとりのみらいを支援

2026年6月期 第1四半期決算説明資料

2026年6月期 第1四半期業績サマリー

2026年6月期 業績予想

株主還元とIR強化について

APPENDIX :

事業内容について

サイバーセキュリティ市場の動向と当社対応

Vision2030について

国・政府も、日本全体のサイバーセキュリティ対策の向上に向けた政策を強化
情報保全の強化、セキュリティ市場と事業者の育成、能動的サイバー防御を政策として打ち出す

国家安全保障戦略

(2022年12月)

- ✓サイバー空間におけるリスクの深刻化と経済安全保障の必要性
- ✓安全を確保するためのサイバーセキュリティ技術力の向上
- ✓偽情報対策

情報保全の強化

サプライチェーン強靱化

サイバーセキュリティ産業振興戦略

(2025年3月)

- ✓有望な国産セキュリティ製品・サービスの創出
- ✓高度専門人材の育成
- ✓国際市場への展開

サイバーセキュリティ市場の拡大

0.9兆円⇒3兆円（3倍超）

能動的サイバー防御法

(2025年5月)

- ✓能動的サイバー防御実施体制の構築
- ✓政府から民間事業者等への対処調整、支援等の取組強化
- ✓サイバー安全保障分野の取り組み実現のための法整備

能動的サイバー防御

受動的防御から、能動的防御への変化



セキュリティ対策のニーズが拡大し、当社ビジネスの拡大を後押し

- ✓ 日系セキュリティ事業者として、コンサルを起点に対策から監視・運用まで、総合的なセキュリティサービスを提供
- ✓ セキュリティ専門要員の確保が難しいお客様に、フルアウトソーシング型の能動的サイバー防御を実現するセキュリティ運用サービスを提供

分析・評価

セキュリティ監査 コンサルティング

お客様の個別ニーズや情報システムを含め全社体制で**取り組むべき事項を的確に抽出**し、最適な答えを導き出します

診断・対策

脆弱性診断

悪意ある攻撃を受ける前に、**自らリスクを発見して防御**することで、事業継続性を高めます

監視・運用

情報漏えいIT対策

慎重かつ堅実な継続的作業を求められるセキュリティ運用を、セキュリティのプロフェッショナルが**24時間・365日体制で支援**いたします

事故対応サービス（緊急時）

緊急対応からデジタルフォレンジック、再発防止のための事後対策までを支援します

2026年6月期 第1四半期決算説明資料

2026年6月期 第1四半期業績サマリー

2026年6月期 業績予想

株主還元とIR強化について

APPENDIX :

事業内容について

サイバーセキュリティ市場の動向と当社対応

Vision2030について

成長のための新たな経営ビジョン「Vision 2030」と「Action 2024」を設定



1. 新規事業への参入と収益化

「Vision 2030」の実現にむけた社会課題の解決のため、新サービスの開発、新規事業への参入と収益化を推進する

2. 成長のための人的資本への積極的投資

成長戦略実現のため、今まで以上に人的資本への積極的投資を行い、サービス品質と生産性を向上させ、一社でも多くのお客様の期待に応える

3. 既存事業の継続的拡大と利益率向上

過去5年のCAGR 11%を維持しつつ、業種別ソリューションをより強化することによって、さらなる利益率の向上を目指す

2030年に向け解決
すべき社会的課題



サプライチェーンを
狙った攻撃



社会インフラを
狙った攻撃

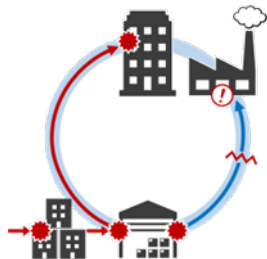


AI時代の
セキュリティ

成長のための新たな経営ビジョン「Vision 2030」

- 2030年に向けた社会的課題を解決するため、より多くのお客様を悪意ある攻撃者から守ることで、「便利で安全なネットワーク社会の創造」に貢献している
- エンジニア、コンサルタントを始めとして当社のビジョンを共有するすべての従業員が安心してお客様のために働き、その価値に見合う報酬を受けるとともに、社会への貢献と自分自身の成長を感じている
- その結果、社会や株主から評価され、企業価値が向上している

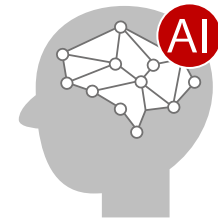
サプライチェーンを狙った攻撃



社会インフラを狙った攻撃



AI時代のセキュリティ



「Vision 2030」で定める経営指標は以下の通り



顧客数

3,000社

（社会の視点）

より多くのお客様を悪意ある攻撃者から守り、「便利で安全なネットワーク社会の創造」に貢献する企業になる

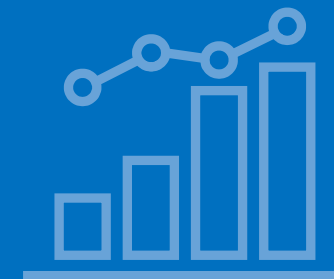


平均報酬

1,000万円以上

（従業員の視点）

すべての従業員が安心してお客様のために働き、その価値に見合う報酬を受けるとともに、社会への貢献と自身の成長を感じられる企業になる



営業利益

25億円

（株主の視点）

社会への貢献を継続し、社会や株主から評価される企業となり、さらなる企業価値の向上を目指す

本資料において提供される情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。

これらは現在における見込、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、業界並びに市場の状況、金利、為替変動といった国内、国際的な経済状況の変動により異なる結果を招く不確実性を含みます。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは、日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

また、当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

株式会社ブロードバンドセキュリティ

お問い合わせ ir@bbsec.co.jp

<https://www.bbsec.co.jp/ir/>

※本資料の社名、製品名、サービス名は各社の商標または登録商標です。



BBSec
BroadBand Security, Inc.